

## 学会長挨拶



国臨協関信支部  
支部長 岩崎 康治

平素より国臨協関信支部の活動に対し、ご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

第47回国臨協関信支部学会はテーマを「変革～新しい時代へ向かって～」として令和元年9月7日(土)に再び国立国際医療研究センター病院において開催することとなりました。

国立国際医療研究センター病院のご協力により慣れ親しんだ会場で開催できることは、運営する私たち支部役員にとっても安心感でいっぱいです。

5月に新しい元号に変わり、まさに新時代へと移り変わりました。

『令和』

当初は多少違和感を覚えたかも知れない元号も、今では何事もなかったように馴染んでいるのではないのでしょうか。そんな時代の遷り変わりゆく時を思い、そして新しい時代に期待を込め学会テーマを決定いたしました。学会テーマが決まった直後に、国立病院機構理事長から今年から始まる第四期中期計画は「変革期」と発表され驚きを隠せませんでした。

ここ数年は近未来の臨床検査を見据えたテーマを掲げてきましたが、今一度足下を見つめ直し、地固めをしつつ将来へ向かわなければ、あっという間にAI技術に取って代わられる日が目の前に迫っています。そのような日が来る前の「変革」と捉え学会テーマに込めさせていただきました。

慣れ親しんだ会場で開催できることにはなりましたが、ここ数年皆様にご迷惑をお掛けし毎回トラブルとなっておりました発表時のシステム環境につきまして、今年度の定期総会でご承認いただき専門業者に委託して安心な環境で発表していただけるようにいたしました。

エントリーしていただいた演題数は36題となりました。お忙しい業務の中、懸命に取り組んでいただきありがとうございます。貴重な研究課題を存分に発表いただき会員の皆様と共有していただければと思います。昨年より少ない演題数ではありますが、分科会で充実した内容を企画いたしました。また、学会賞の選考も今回から改革し、学術委員のみで組織した選考委員会といたします。

本学会も変革期を迎えていると思っておりますが、これまで培ってきたもの、それは皆様方の協力で開催されてきました47回という歴史です。その歴史は継承しなければなりません。有意義な学術集会にするために役員一同準備を進めて参ります。会員皆様のご協力と多数のご参加をお待ちしております。